

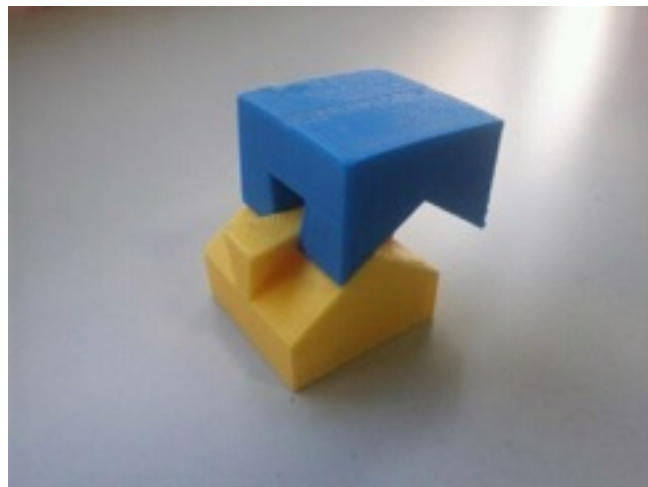
日本の継手シリーズ その壱

大阪城大手門の継手

「あれ～。これどうやってつながっているんだろう」



とりはずし方



正面からみると、でこぼこがある。
横から見ると、山のかたちでつながっている。
これじゃ、くつつけることができない～。

大阪城大手門は、江戸時代、寛永五年（1628年）に作られ、大正十二年（1923年）に補強された大阪城の正面玄関。この大切な場所に、よく見ればビツブリするこの継手を使う大胆さ。粋で華美な美意識と伝統技術の両方を受け継ぐ継手です。婆娑羅（バサラ）継ぎとも呼ばれています。

OpenData

123d file: <https://github.com/masa8/model/blob/master/oosakajyo/oosakajyou.123dx>